

Volume TOP 1級

ポリウムエクステンションの応用技術、知識の総合的な能力が要求されます。
ポリウムエクステンション検定の最高位にあたる級となります。
会員のみ受験可能です。(トライアル検定はどなたでも受験可)
合格ライン:実技/学科試験100点満点のうち90点以上で合格。

試験内容

実技試験

カウンセリング (10分)
事前準備 (10分) (ワゴンセッティング・消毒管理)
エクステンション実技 (110分) (テブワーク・エクステンション装着・オフ)

学科試験

所要時間 (60分)
出題形式:選択問題、記述式問題

実技試験・規定の詳細と注意事項

モデル

- 18歳以上、男性不可。
- モデルのまつ毛、皮膚及び眼球、眼の周りに疾患(感染症等)がある場合はモデルになれません。
- 妊娠中の方はモデルになれません。
- コンタクトレンズはソフトレンズ、ハードレンズともに極力外して下さい。
- 当日はアイメイクはしないで参加して下さい。(まつげパーマも不可)
- モデルの額の上にタオルを置く場合は、タオルから両手のはみ出ないようにすること。

カウンセリング 10分		＜カウンセリング＞ ・配布される指定の用紙を使用し、モデルにカウンセリングを行う。(使用しているカウンセリングシートの持込可) ・施術前に必要な内容をモデルに確認、説明できているか。 ・カウンセリングした内容は指定の用紙に全て記入すること。(○×表記不可) ・太さ:0.05～0.07mm、長さ:9～13mm、カール:JカールとCカールの2種類 のエクステンションを使用すること。
指消毒から始め、ワゴンセッティングをする。		
事前審査 10分		＜ワゴンセッティング・消毒管理＞ ・使用用具・用材のセッティング(使用するものは全てワゴン上にセッティングすること) ・使用用具・用材の品名ラベル表示(アルファベット表記不可) ・衛生面における配慮(ワゴンの消毒、用具の消毒、手指の消毒) ・ウエットステライザーの状態 ・まつげの保護及び上まぶた引き上げ(必要な場合のみ)に使用するテープの準備
指消毒から始め、まつげ保護テープを貼る。(上まぶたの引き上げが必要な場合は引き上げテープを貼る。)		
保護テープ 10分		・手指消毒は指先、指間、手首にいたるまでしっかりと擦式清拭する。 ・下まつげ保護のためのテープの一番上は白色テープを使用する。 ・安全にテープが貼れているか。 ・テープ貼りを終了次第、挙手にて試験官に申告。→試験官確認。 ・試験官確認後は指示があるまで目元には触れないこと。
指消毒から始め、プレケア・装着・ドライアップを行う。		
90分	プレケア	・綿棒、マイクロスティックを使用すること。 ・安全な用材を使用し、安全に施術しているか。
	エクステンション装着 両目90ファン (片目45ファン) ・太さ:0.05～0.07mm ・長さ:9～13mm ・JカールとCカールの2種類を組み合わせる。 ・D数:3D～4D	・安全な用材を使用すること。 ・グルー、エクステンションはワゴン上で使用すること。 ・両手ツイーザーを使用すること。 ・ツイーザーの使用方法是安全か。(眼球に対しての刃先が向いていないか) ・ツイーザーが皮膚に当たらないように使用すること。 ・ツイーザーの先端を手で触っていないか。 ・まつげのかき分け方が適切に行われているか。 ・グルーが皮膚に付着していないか。 ・グルーの量は毎回均等に適切な量を使用できているか。 ・グルーの調整方法は適切か。(目元周辺で行わないこと) ・自まつ毛1本に対してエクステンション1ファンを装着すること。 ・根元周辺の接着状態は安全であるか。 ・エクステンションは皮膚につかないように皮膚から0.5mm～2mm程度離して装着すること。 ・エクステンションや自まつ毛がからんでいないか。 ・目元周辺のテープにエクステンションが接着していないか。 ・目元の状態確認やモデルへの声掛け・配慮は行っているか。
	ドライアップ	・安全な方法でドライアップが出来ているか。 ・グルーの特徴に合わせたドライアップを行っているか。
	指消毒から始め、オフを行う。	
オフ 片目全て 10分	・リムーブ剤が皮膚についたり、目に入らないように使用できているか。 ・リムーブする際のツイーザーの使用禁止。 ・リムーブ後に用材が使用部分に残っていないか。 ・リムーブ剤により目が沁みしていないか。 ・指定本数を取りきれない場合でも取り外し作業を終了し時間内に目が開けられる状態にすること。	

実技試験の注意事項

使用用具、用材のセッティング	使用用具は衛生的に処理されたものを使用し、アルコールで変質するものは使用しないこと。 使用するものは全てワゴン上にセッティングすること。 消耗品は、フタ付き容器に入れること。 衛生面における配慮（ワゴンの消毒、用具の消毒、手指の消毒）
品名ラベルの表示	使用用具・用材に品名ラベルを表示すること。（アルファベット表記不可）（移し替えたものにも表示） 〔品名ラベルを貼らなくて良いもの〕 ツィーザー、グルーブプレート、エアブローア、コーム、シザー 石、クリスタル以外のものをグルーブプレートとして使用する場合は、保管容器（袋）に表示すること。
ウェットステリライザーの状態	ウェットステリライザーの品名ラベルは容器底面から高さ2cmの位置に貼ること ※下図参照

ワゴンセッティング

注意点

- 下記の必要な用具、用材は受験級に応じて、全て持参すること。（貸し出しは一切行いません）
- 下記ワゴンセッティングを参考に当日は衛生的に処理された用具、用材を整理整頓して配置すること。
- 受験者はマスクを着用すること。



[ウェットステリライザーについて]

容器底面から品名ラベルの上部
までを2cmとするようにラベルを貼
ること。
また、アルコール量はラベル上部

- | | |
|--------------------------------------|-------------------------------|
| 1 : フレアタイプ以外のエクステンション | 11 : サージカルテープ |
| …カール及び長さの指定なし | 12 : ドライステリライザー |
| …1級は長さやカールの異なるもの2種類以上を組み合わせること。 | …予備のツィーザーを入れておく消毒済ケース |
| 2 : ラッシュトレイ | …アルコールで変質する容器は使用禁止 |
| 3 : ツィーザー | …コットン、又はガーゼを敷き、消毒用エタノールを |
| 4 : グルー（黒色限定） | スプレーで3～4プッシュ吹きかける（コームなどの |
| 5 : グルー用プレート | 器具用のドライステリライザーには不要） |
| 6 : 消毒剤（エタノール等の消毒液） | 13 : エアブローアー |
| 7 : ウエットステリライザー（消毒容器） | 14 : コーム |
| …アルコールで変質する容器は使用禁止 | 15 : コーム、エアブローアー立て |
| …コットン、又はガーゼを敷き、2cmの消毒用エタノールなどを入れること。 | 16 : シザー |
| …ウエットステリライザーからツィーザーを出した際には | 17 : 綿棒 |
| アルコールが垂れないようコットンで拭くこと。 | 18 : マイクロスティック |
| …品名ラベル位置、及びアルコール量は上図を参照 | 19 : コットン・不織布コットン |
| 8 : リムーバー | 20 : ティッシュ |
| 9 : 精製水 | 21 : ゴミ箱（ゴミ袋） |
| 10 : プレケア用材 | 22 : エチケツト袋（袋を置いているトレイはなくても可） |

試験における減点対象
用具・用材が衛生的に処理されていない場合
消毒が不適切と認められる場合（用具、手指）
用具・用材が整理整頓されていない場合
用具・用材の貸し借りを行った場合
用具、用材をワゴン上以外へ置いた場合
品名ラベルを必ず貼る用具、用材にラベルを貼っていない場合や、アルファベット表記の場合
容器を移し替えたものに対しての品名ラベルが貼っていない場合
消毒用器（ウェットステリライザー）の状態が不適切な場合（素材、アルコール量等）
試験中に用具を落とし消毒を行わずに使用した場合※
全ての準備を終えずに施術を開始した場合
実技試験におけるタイムオーバーの場合
施術周りへのダメージを与えた場合（グルーが付いた毛を皮膚の上に落とす等）（1級2級）
マネキンの顔にグルーを付ける、又はグルーが付いた毛を落とし、そのまま放置した場合。毛を取り除き、試験官に申告した場合は、減点対象にならない。（3級）
ヘアスタイル等身だしなみの衛生状態が不適切な場合
私語の多い場合やマナーが悪い場合（モデル含む）
モデルとして不適切な場合（マスカラがついている、グルーが残っている等）
ゴミを持ち帰らない場合
携帯電話が鳴った場合（モデル含む）
服装が節度をわきまえていない場合

※用具を落とした場合、挙手で合図をし、試験官がそばに来てから用具を拾い、手指および用具の消毒を行ってから試験再開をした場合減点対象にはならない。

※落とした用具を再使用しない場合は、拾わなくても良い。

試験における失格対象
遅刻をした場合（開始前までに定位置についてない場合）
受験票を忘れ、受験票に写真貼付がない場合
カンニング等の不正行為、禁止行為を行った場合
試験官の指示に従わない場合
事前審査の前や実技試験終了後に、まつ毛に手を加えた場合
施術周りに著しい損傷を与えた場合（グルーを目に入れる等）
施術工程において、危険だと判断される行為があった場合
試験中、他の受験者の妨げになるような行為を行った場合
モデルが試験中に受験者にアドバイスをを行った場合
減点対象項目の事項が著しくひどい場合

その他注意事項
事前審査までに受付を終了しないと原則として受験できません。
事前審査開始までに指定の席にモデルとともに着席してください。
実技試験に必要な用具、用材等はすべて持参してください。（用具の貸し出しは一切行いません。予備は各自の判断で持参ください。）
学科試験には、HBかBの鉛筆、またはシャープペンシルと消しゴムを持参してください。（用具の貸し出しは一切行いません。）
その他、試験中の諸注意は、事前に試験官より説明いたします。
試験会場では、すべての試験官の指示に従ってください。正当な理由なく従わない場合は、失格となります。
原則として、試験に関するご質問はお受けいたしません。
服装に関しては、アイスタイリストとしての自覚と節度をわきまえてください。
実技試験の際の手周りのアクセサリは腕時計のみ可とします。
受験者の爪の長さは5mm前後以下に整えるようにしてください。
携帯電話及び音の出るタイマー等を時計代わりに使用することを禁止します。
ゴミは必ず各自でお持ち帰りください。
試験会場では受験者・モデルともに、携帯電話の使用は禁止です。試験中はマナーモードにするか電源をお切りください。（マナー違反として減点対象となります。）
試験会場から問題用紙・解答用紙の持ち出しまたは持ち帰ることはできません。